

校長室だより (No.1)

令和5年4月11日
丹波市立黒井小学校長
谷口 千尋

令和5年度の学校経営についてお話しします。中央教育審議会では、9年間を見通した「新しい時代の義務教育の在り方」について次の9つをあげています。

9年間を見通した新時代の義務教育の在り方について

- ・教育課程の在り方
 - ①学力の確実な定着等の資質・能力の育成
 - ②補足的・発展的な学習指導
 - ③カリキュラム・マネジメントの充実に向けた取組の推進
- ・義務教育9年間を見通した教科担任制の在り方
 - ①小学校高学年からの教科担任制の導入
 - ②義務教育9年間を見通した教師の養成等
- ・義務教育を全ての児童生徒等に実質的に保障
 - ①不登校児童生徒への対応
 - ②義務教育未修了の学齢を超過した者等への対応
- ・生涯を通じて心身ともに健康な生活を送るための資質・能力を育成
 - ①学校医、学校歯科医、学校薬剤師等の専門家との連携
 - ②栄養教諭の配置促進
- ・いじめの重大事態、虐待事案等に適切に対応
 - ①SC・SSWの配置等の充実、スクールロイヤー等の活用
- ・特別支援教育
 - ①障害のある児童生徒の多様な学びの場の一層の充実・整備等
 - ②就学前における早期からの相談・支援の充実

①教育課程の在り方については、学力の確実な定着等の資質・能力の育成と補足的・発展的な学習指導、カリキュラム・マネジメントの充実に向けた取組の推進です。②義務教育9年間を見通した教科担任制の在り方については、小学校高学年からの教科担任制の導入、義務教育9年間を見通した教師の養成等です。③義務教育を全ての児童生徒等に実質的に保障していくために、不登校児童生徒への対応と義務教育未修了の学齢を超過した者等への対応。④

生涯を通じて心身ともに健康な生活を送るための資質・能力を育成として、学校医、学校歯科医、学校薬剤師等の専門家との連携や栄養教諭の配置促進。⑤いじめの重大事態、虐待事案等に適切に対応するためにSC・SSWの配置等の充実やスクールロイヤー等の活用があげられています。⑥特別支援教育については、障害のある児童生徒の多様な学びの場の一層の充実のための整備や就学前における早期からの相談・支援の充実などがあげられています。

この中で大切になってくるのが、「学力の確実な定着」「カリキュラム・マネジメントの充実」「教科担任制」「不登校児童生徒への対応」「関係機関、専門機関との連携」「SC・SSWの活用」「多様な学びの場と相談・支援の充実」となります。整理しますと、「支援」ということに重きを置いたものであると考えられます。個に応じた支援をしていくことで、主体的な学びに結び付け、さらに地域や学校、子どもたちの実態に合わせてマネジメントしていくことで学校教育等を充実させていくことが肝要であると感じています。

長く続くコロナ禍で、本校においても子どもたちの心に寄り添うことが大切であると考え、今年度の学校教育目標を「自分に自信をもち、地域に誇りをもつ心豊かな子の育成」としました。昨年度は、「地域に誇りを持ち未来を切り拓く 黒井っ子の育成」と「地域」を最初にしていましたが、先ほどにもありましたように、まず子どもたちの現状に寄り添うことが大切であると考えました。子どもたちが自信をもちことを最優先に、1年間取り組んでいきたいと考えています。

令和5年度学校教育目標

「自分に自信をもち、地域に誇りをもつ心豊かな子の育成」
自信をもって人生を切り拓いていくための「学力」を育成するとともに
地域から学び、自分たちの地域を愛する 心豊かな子どもたちを育成する

- ①多様な他者の考えや立場を理解し、相手の意見を聴いて自分の考えを正確に伝えることができることや②自らの思考や感情を律し、かつ、今後の成長のために進んで学ぼうとすること、③様々な課題を発見し、適切な計画を立ててその課題を人と協力して解決することができること、④自らが果たすべき様々な立場や役割を踏まえて人のために行動することをとおして自身の成長を実感させていく教育の実践
- ①人間関係形成・社会形成能力
 - ②自己理解・管理能力
 - ③課題対応能力
 - ④キャリアプランニング能力

めざす子ども像

- 【自信をもち・自ら学ぶ】 課題を見つけ学び続ける ②③
- 【地域に誇りを持つ】 人とつながり地域を学ぶ ①②
- 【心豊かにたくましく生きる】 自他の命や人権を大切にする ③④